

Press Release



7. 12. 9

水産研究センター

完全養殖マサバの出荷について

水産研究センターでは、令和6年度から次世代の養殖魚種として完全養殖マサバの種苗生産及びその養殖技術の開発に取り組んでいます。現在6業者が試験養殖に取り組んでいますが、このうち愛南地区の業者が12月中旬頃から順次出荷を開始することとなりました。

については、試験養殖に取り組んでいる愛南地区の業者の協力により、次のとおり完全養殖マサバの試験養殖の状況について現地説明等を行うこととしたので、お知らせいたします。

記

1 日 時 令和7年12月15日（月）13:00～

2 場 所 愛媛県南宇和郡愛南町赤水53番地1

ヤマニ中田水産

3 その他 取材当日は、漁船に乗船して漁場まで御案内し、生簀の中で泳いでいる完全養殖マサバの撮影及び数尾程度を水揚げする予定（荒天等により漁場に御案内できない場合は、事前に船着き場まで輸送したマサバでの対応となります）

※漁場まで御案内する船の定員の関係で、乗船人数を制限させていただく可能性がありますので、取材をされる場合は、事前に水産研究センターまで御連絡ください。

また、乗船される方につきましては、ライフジャケット（救命胴衣）を御持参いただきますようお願いします。

本件連絡先

農林水産研究所水産研究センター

TEL 0895-29-0236

担当者：センター長 渡邊 昭生

養殖推進室長 川上 秀昌

(参考)

●愛南町での試験養殖の概要

水産研究センターが生産した完全養殖マサバの種苗を令和6年6月26日に8,000尾を配付し、試験養殖を開始した。7年11月中旬時点の生残尾数は約6,147尾（生残率76.8%）、魚体重は約620gとなっている。

●取材当日（12月15日）のスケジュール

13:00 ヤマニ中田水産 発



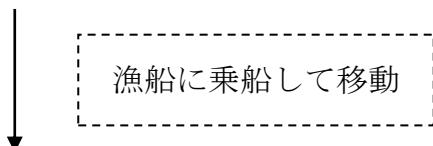
13:20 漁場 着

※三ツ畠島付近

(撮影のポイント)

- ・生簀内のマサバの様子
- ・数尾程度のマサバの取上げの様子 など

14:20 漁場 発



14:40 ヤマニ中田水産 着